

ご意見記入用紙にいただいた主なご意見

ご意見記入用紙提出枚数：49枚

※複数の分類に該当している意見は、分けて記載しています。

町田市立図書館の現状について

NO	ご意見
1	町田市の人口は増えています。年間ランニングコストは、鶴川図書館が中央の9分の1なのに貸出し冊数は5～6分の1とコスパが良いです。つまり、人口とコスパは鶴川図書館廃館の理由になりません。
2	これを機会に唯一駐車場がない駅前図書館がもっと利用しやすくなるよう、是非30分でもいいから駐車場を提供してほしいです。
3	新しい本をたくさん入れてください。貸出冊数・利用者数のグラフには図書購入費のグラフを添えてください。

図書館の再編について

NO	ご意見
1	市は図書館の存続意義をどのように考えているのでしょうか。民主主義の基本、市民の知る権利を尊重するのは行政の義務です。図書館を減らすのは文化をないがしろにし、町田市の魅力をそこなうことになります。新たな市民を呼び込もう、選ばれるようにしていこうと言っていますが、逆効果ではありませんか。
2	市民の意見（存続を求める請願）、市議会の意向（全会一致採択）を無視する市政を見直して下さい。
3	廃館はやはり中止するべきだと思います。
4	30年以上、鶴川地域で地域子育て支援活動業務（保育園、学童保育、子育て広場、他）に関わってきましたが、子どもの成長にとって図書館が欠かせないと感じている毎日です。鶴川図書館は、図書館として地域の要として残すことを基本として続けていかれる補助、支援を願ってやみません。（駅前に集約ではなく、鶴川図書館として。） 私のモットーとしている言葉「食べ物は体の栄養」「本は心の栄養」「食べないでは体が育たない」「読まないでは心が育たない」コミュニティー施設の中の一つの場所ではなく「図書館」として残すことに意味があります。
5	子供達の事を考えましょうよ。小さい子供は自力で駅前まで行けません。鶴川団地の図書館は子供達に必要です。コストで考える事ではないと思います。無くす事を前提に説明・理由付けされていると感じました。なぜ変えなければいけないのかわからなかった。URの建てかえならそこに組みこめば良いのです。
6	図書館の廃止は地域の文化度が問われます。人口が3万人程度の山梨県北杜市でも合併前の町村の7つの図書館が維持されています。人口43万人の町田市でも維持すべきではないか。
7	図書館貸出数は2021年で回復しました。むしろ図書館は必要とされているのではないのでしょうか。

8	鶴川図書館は鶴川地域の未来に絶対必要です。図書館として残して欲しいです。まさか廃館になるとは…。「未来への投資」と図書館として、残すことだと思います。
9	住民のささやかな「鶴川図書館を残して」の要望をぜひ市は聞いた上で施策を進めてほしいです。くれぐれも市民の声を無視する形にならない様お願いします。
10	人口減少、高齢化のため公共施設の再編は致し方ないと思いました。 多くの質問がありましたが、多様な公共施設、予算の配分において全体から見たときに図書館に行きついた理由を開示していただくとさらに理解ができるように思いました。 鶴川図書館の来館者数はシンプルに少ないと知りました。そのため廃館は仕方ないように思いました。

図書コミュニティ施設の運営体制について

NO	ご意見
1	図書館のカウンター業務は人間の内心の自由にかかわる大切な仕事という指摘は大変重要なものだと思います。簡単に地域の人がだれでもできる仕事ではないということです。コミュニティ施設だからといって専門性が問われないものではないと思います。
2	民設民営とした後の方が資料購入費が増えるという回答でしたが、費用面が課題である中、筋が通らないのではないのでしょうか。
3	市立図書館の本もなし、司書もなしでは図書館機能は劣化します。ノウハウもない市民には本の分類や整理、運営管理など無理です。図書館経験もないNPOへ「丸投げ」では続きません。
4	民設民営…運営団体の資金は、どうなるのでしょうか。市は運営費補助のみ…これは、どこまで何年間補償されるのでしょうか。そもそも、経費削減（市の負担軽減）のための方針としか見えません。市民サービスの削減には断固反対です。図書館機能重要です。市の計画の安定性への疑問も出されていますが、その通りです。
5	地域と地域の団体企業など多様な方々が協力し、運営していく方向性は素晴らしいと思います。「いつでも安心できる場所」と「いけば新しい発見がある場所」が両立できるといいですね。
6	人口的には図書館の利用者さんも多くあると思います。学校も有ることですのでもっと広いスペースの有る多くの人達のコミュニケーションの場所を希望します。私達は駅前のポプリの図書館に出掛けます。
7	地域の”広場”としての図書館としての機能を重視して見直しを進めていただきたいです。今や本を借り、調べ物をするだけの図書館ではなく、コミュニティの”つどい”の場として大きな役割を果たしています。それは各図書館の立地や特色、住民の年齢構成などを考慮して進めて欲しいです。
8	是非、地域住民として運営に参加したいと思います。

9	「図書館」の枠を外すことで得られるプラス面に、目を向けていければと思います。もちろんマイナス面もありますが、そのバランスをいかに取るかではないでしょうか。
10	お疲れ様です。お示しされた方向性に賛成です。今までの話し合いの中で民営化したあとの資金繰りが問題にあがりクラウドファンディングなどが意見が出ておりました。町田市からの補助金でまかなえる計算なののでしょうか。もちろん（スタッフさんに少しでも有償ボランティアにしてほしいと思ひまして）運営委員会で今後ご検討をされるのであらうと思ひれますが。
11	図書館について自覚をもった人たちが運営の主体となつてがんばればよいと思ひます。ただ、コミュニティスペースに重点をおくと、図書館の機能がかすんでしまうのではないか、ということが気になります。
12	お忙しい中、説明の機会を作つていただきありがとうございます。コミュニティ施設なので、様々な交流、人が集まる所になるのはわかりました。「図書館」として「本に囲まれる幸せ」「静かに本と対峙できる空間」も実現して頂けると嬉しいです。
13	プライベートファイナンスイニシアティブPFI（行政計画に民間資金）を検討する（URは不動産ですので、むしろ金融機関をあたとよいのではないのでしょうか。クラウドファンディングもありと思ひます）。 ブックオフなどリユース業界とのWinWin関係を検討する。 大阪発の「まちライブラリー」を導入する（南町田グランベリーパークにあります）。
14	変化することは何らかのストレスがあるものですが時代に合った形に変えていくべきでしょう。全ての公共施設の運営を市民と共にやる仕組みをつくる事も大切だと思ひます。
15	民間にし、賃金も安くし、成長しない日本にしないで下さい。

図書コミュニティ施設の機能について

NO	ご意見
1	鶴川図書館廃止ありきではなく、市民の智恵と力をあつめてどうやって図書館のあるコミュニティづくりをすすめるかを検討しましょう。これに関する議論をできるだけオープンにして多くの市民へ周知をはかつていただきたいです。
2	蔵書が少なくなる不安→大きなディスプレイで本の紹介→レンタルタブレットなどでの電子図書で試し読み テラスがあつたり、外の壁にも落書きできるようなスペースがあつたり、地域の方とDIYで少しずつ作り上げていく施設でもよさそうです。もっと明るく入りやすい雰囲気づくりをみんなで作つていきたいです。

3	蔵書がなくなるのは許容できますが、予約図書貸し出し機能は、必ず残してほしいです。ただ予約本を借りるためだけのために、行くのに時間がかかり（交通渋滞）、しかも駐車場サービスが受けられない駅前図書館に行くのは負担が大きいからです。
4	コミュニティ施設を併設するという考え自体には賛成です。本好きが集まって、（予約本を受け取りに行く時などに）コーヒーでも飲みながら語り合える場にしてほしいです。
5	鶴川図書館の廃止が話題になりましたが、再編と言うのは形を変えて継続と言う受け止めをすればよいのではないかと思います。再編であっても「鶴川図書館」としての機能は継続で話し、名前も残すのではないのでしょうか。
6	図書館機能は、中途半端に残さないで、すべて駅前へ移すべきです。地域コミュニティが欲しいのなら、それだけを作れば十分です。図書コミュニティという新しい単語を作るから、変に期待してしまいます。跡地を利用できる地域コミュニティを作れば十分です。
7	図書館の再編という名目で市制から切り離していこうとされるような雰囲気を感じました。数年前に鶴川団地に引越してきた時に、センター街の一角に図書館があることを知ってうれしく思い、時々利用させてもらっております。この小さな図書館に力を入れて逆に戦略的に外部（全国）にアピールできるような所になれば良いと思います。そのためには団地の建て替えはかえってチャンスなのではないかと思います。おもしろいポジションだと思います。蔵書の入れ替えも時々してもらいたいです。
8	地域の学校と連携したりして、本を読む人が多くなるよう啓蒙活動も大事だと思います。
9	図書館は地域文化の中心地だと思います。中央図書館は遠いし、もしなくなったらいくら駅前図書館が出来たからといえ、歩いて10分くらいで図書館があると良いと思います。 図書館が民営化というと質が落ちると思います。司書の方が身分を保障される事が大事です。
10	市の蔵書を引きあげるとはとんでもないです。 図書購入費／人が少なければ、利用者が減って当然です。
11	図書館としての機能からして、「飲食」は盛るべきではなく、各自水筒持参の現状を通すべきでしょう。飲食でゴミも増やしてしまいますから。

説明会について

NO	ご意見
1	形だけやったという。聞く耳はもたない。市民協働とは、程遠いです。市民と一緒により良いのを作ろうという姿勢が全くないです。税金を払う気持ちになれません。
2	「鶴川地区協議会と協議して～」とありますが、質疑を聴いていると、一致しているようには思えません。
3	なぜ鶴川図書館をつぶすのか、ごまかさずに説明して欲しいです。
4	「市は録音するが市民はするな」とは余りに一方的ではないでしょうか。
5	とりあえず収めようという姿勢しか見えず残念です。選ばれる町に、とおっしゃってますが、選ばれない町にまっしぐらな気がします。鶴川だけでなく町田市すべての図書館にききかんを感じます。もう町田を出ていこうかとすら思いました。本当に残念です。
6	これからは鶴川の図書館を利用して頂く予定でしたのに、こうした問題が起きているのは残念ですが、私達が出来ることは頑張らなくてはならないと思いました。皆様多数建設的な意見をされています。多勢の考えを聞けて良かったです。
7	本日初めて来ましたという方々が多く、前向きな討論でなかったのが残念です。大変ですね。
8	「図書館廃止」を「再編」、只の予約受取場を「コミュニティ施設」と称するなど、只の印象操作が目立ちます。図書館機能を残し、失敗なら市の直営に戻す覚悟なら納得しますが。市民へ丸投げして潰れるはまかせる姿勢が見てとれました。
9	説明がわかりやすかったです。説明されていた方は質問に一生懸命答えられていたと感じました。引き続き、頑張ってくださいたいです。
10	地域の図書館が必要ななか、高齢の方ばかりの発言が目立ち、これからの若い人達の意見がさかんに議論されるべきではないかと思いました。

11	これからの方向性について、町田市からも（今日の話し合も含め）12日にもっと具体的につめてもらいたいと思いました。
12	ご苦勞様でした。
13	かなりあいまいなプランで、説得力がありません。市民協働は空虛です。中身がありません。
14	質疑応答でたくさんの意見が出されました。市民協働図書館にすることで、図書館の利用が増えると考えているのか教えて頂きたいです。

その他

NO	ご意見
1	2017年の市議会請願が2020年の別の請願の不採択によって否定されたとは思えません。
2	図書館の機能を残してもらいたい方が多いことに驚きました。
3	町田市の人口減少があげられましたが、町田市は都心からわりと近い位置にあります。町田市の活性化が第一だと思います。老人が多くなった町田市、埼玉など若い人が多く住む傾向、やはり地域政策もあります。子供が思いきり遊べる公園も町田市には少ないし、住居費も高いし、若い人が住む魅力のある町にする。
4	おつかれさまでした。
5	鶴川には多くの言語の外国人が住んでいます。外国語の本を置いてほしいです。
6	NHKで指定管理者制度はコスト削減目的で問題と指摘されました。今回の方向性は同じコスト削減です。 IT化に乗りきれない高齢者に活字は大切です。高齢者に喜ばれる町を目指して欲しいです。
7	娘夫婦がすぐ近くに住んでおり、孫がよくこの図書館を利用しているようです。たまに会うと図書館のことをとても嬉しそうに話してくれます。ジジ馬鹿ですが本が大好きになってくれたのは、この図書館のおかげだと思います。何ごともお金の世知辛い時代ですが、文化や夢の育つ環境をなんとか守っていただきたく、祈っています。再編という名の丸投げ責任放棄で、ダメになったのはすべて地域の住民の力不足とされるのは、勘弁して下さいね。孫があまりにもかわいそうですから。